



★★★
最高賞

肉牛の部

内閣総理大臣賞受賞

全国和牛能力共進会 肉牛の部

悲願の日本一獲得!

トロフィーを受け取る薬師さん（画像提供：宮崎県）

市が進めている「都城の持つ3つの宝」を輝かせるための取り組みの一つ、「農林畜産業」の振興。9月7日から11日にかけて、宮城県仙台市で開催された、全国和牛能力共進会肉牛の部・第8区で薬師憲一さん（高崎町縄瀬・45歳）の出品した、「満点明彰」号の優等首席と内閣総理大臣賞獲得という、快挙達成の報告が届きました。今回は、全国和牛能力共進会（全共）の結果と、これまでの市の取り組みなどを紹介します。なお、薬師憲一さんの取り組みや活躍については、広報都城11月「人の風景」で詳しく紹介します。

◎問い合わせ 秘書広報課

☎23-2472

5年間の歩み

平成25年4月、市では同年度当初予算に、全国和牛能力共進会対策事業として予算を計上し、畜産課内に共進会対策室を設置。

それ以降、全共宮城県大会に都城から宮崎県代表牛を出品し、名実ともに「日本一の和牛産地」の称号獲得に向け、「和牛共進会プロジェクト事業」などを創設し、生産者を積極的に支援。生産者とともに、日本一獲得に向けた取り組みを進めてきました。

【全国和牛能力共進会（全共）】

肉質や改良の成果を競う全国規模の和牛の品評会で、「和牛のオリンピック」とも呼ばれています。5年に1度開催され、各県ごとに厳しい審査を勝ち上がった代表牛と生産者が、日本一をかけて競い合います。

その審査は、繁殖の基盤となる牛の体型や毛並みなどを審査する「種牛の部」（1～6区）、枝肉にしてサシの入り具合や肉色などを評価する「肉牛の部」（8、9区）、両部門をまたいだ総合評価（7区）の9つの区分に分かれます。審査の結果、それぞれの区分から1位（「優等首席」）が選ばれ、その優等首席の中から最高賞となる「内閣総理大臣賞」が「種牛」と「肉牛」両部門で選出されます。

また、産地を競う「団体賞」は、順位などを点数化し集計するもので、県単位で選ばれます。



第8区は、同じ種雄牛を父親に持つ子3頭の肉質を評価する部門。「満天白清」号を父に持つ肉牛を育てあげた小林市の出品者らとともに表彰を受けた薬師さんは、今までの重圧から開放され、笑顔が溢れていました。

7月上旬、小林地域家畜市場で開催された宮崎県代表牛決定検査会において、本市から唯一、全共出品の切符を手にした薬師さん。約300頭の肉牛を飼養しながら、「満点明彰」号の出品に向けて、夏の暑さと格闘し、管理を徹底してきました。

努力が実を結んだ快挙